

質疑・質問

3月定例会の
主な質問項目

1 吉岡 猛議員

- ①市長の政治姿勢
- ②まちづくり
- ③中山間地域等直接支払制度
- ④給食センター

2 安川哲生議員

- ①財政問題
- ②農林業振興
- ③子ども手当
- ④交通対策
- ⑤教育問題
- ⑥山鳥坂ダム

3 二宮 淳議員

- ①肱川の治水・環境
- ②国民健康保険事業
- ③長浜地域の活性化
- ④市営墓地
- ⑤公共施設の安全度

4 宇都宮宗康議員

- ①保育所における非正規職員
の待遇改善
- ②清和園移転改築事業の検
討状況
- ③自主財源確保
- ④学校施設の障害者トイレ

5 梅木加津子議員

- ①山鳥坂ダムと鹿野川ダム
- ②子どもの医療費無料化
- ③在宅子育て支援

4 公用車の活用状況

- ⑤学校給食センター
- ⑥住宅リフォーム制度
- ⑦国保税の引き下げ
- ⑧国の「子ども・子育て新
システム案」

6 上田栄一議員

- ①「県・市町連携政策会議」
及び当市の行政
- ②小中学校のエアコン設置
- ③市立大洲病院の運営
- ④耕作放棄地対策と農業の
振興
- ⑤如法寺仏殿改修と観光
- ⑥環境センターの休日対応
- ⑦鳥インフルエンザ対策
- ⑧地域の交通環境

7 榊田和美議員

- ①児童の健全育成
- ②妊婦健診
- ③農業振興

8 武田雅司議員

- ①わかりやすい予算書、決
算書
- ②行政評価
- ③給食センターPFI事業
- ④小学校の英語必修化

9 中野寛之議員

- ①市長の政治姿勢

市政運営と今後の大洲市

問 取り組み方針について

現在の地方都市は非常に厳しい環境に置かれています。その中で大洲の地域資源は文化、歴史であり、豊かな自然であり、そして人材が資源だと位置づけています。これらを何とか磨き上げて、そして地域に活かし、みんなで協力して、まちづくりを進めていきたいと考えています。

努め、一人でも多くの市民が安らぎと生きがいを持って暮らせるまちづくりを行う方向でこれからの市政運営を進めていきたいと考えています。

行政評価

問 予算編成への具体的活用について

大洲市における行政評価制度の導入については、平成20年11月に1つの係で1事業をめどに試行を開始し、その後評価対象事業数を徐々に増やしながら、今年度は442の事業について担当者による自己評価を行い、また課内で事業の方向性の判断を行う課内評価を実施しました。また、21年度から、それら評価を行った事務事業の中から各所属1事業程度を抜き出し、職員をメンバーとする大洲市行政改革検討委員会による庁内評価を試みているところです。

外部評価の方法については、事業に関する資料やその評価シート及び各担当課からの説明といった判断材料を外部委員に提示し、点

数評価をお願いすることを想定していますが、最終的には、その評価結果を踏まえ、市長、副市長、教育長及び部長級以上の職員で組織している庁議の場で、その意見をどのように反映させるのかなどを含めて、総合的に評価をしていく方法を検討しています。

そこで、現在試行中の行政評価は、事業の必要性、妥当性、成果、効率性の4つの指標で評価をし、それらを踏まえ事業の重点化、現状維持、手段改善、コスト削減、規模縮小、統合、休廃止の7つの区分により、今後の事業の方向性を選択し、決定することとしていきますので、予算編成を行う際には庁内で協議し決定した方向性を予算要求や査定での判断基準の一つとして活かしていきたいと考えています。

ただ、行政が取り組む事業の中には、一概に費用対効果のみで判断すべきでない事業もあることから、市民生活に影響を与える事業の縮小や中止ということに関しては、慎重に対応をしていかなければならないと認識しています。